

平成 29 年度 横浜市川井地域ケアプラザ事業実績評価

平成 29 年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員に欠員が生じた期間がありました。職員体制の安定化を図ってください。 ・日頃から、5職種（地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）が連携して取り組むという意識を強く持ち、日常的な情報交換から協働事業の開催に至るまで、各職種が密に連携・協力し合っけてケアプラザの運営が進められています。 ・どの職員でも一旦は相談を引き受けられるよう体制を整えたり、来館者への挨拶を丁寧に行うなど、地域住民が気持ちよくケアプラザを利用できるよう、配慮がなされています。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・自主企画事業をとおして新規ボランティアを発掘したり、既存のボランティアの活動場所をコーディネートしたりするなど、ボランティアの育成・サポートを効果的に行っています。 ・「地域に足りないものは何か」という意識のもと、積極的に地域に出て、現状把握・ニーズ把握を行い、課題解決に向けて取り組んでいます。また、貸館利用の適性化を図るなど、利用者の理解を得ながら、施設の運営改善に取り組んでいる点も評価できます。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域の声をきめ細かく聴取し、事業の企画に活かすことができています。 ・孤立しがちな高齢者のつながりづくりを意識した取組ができています。
地域包括支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域の特性をとらえ、顔の見える関係づくりをし、地域とのやり取りを密に行い、積極的に地域に働きかけを行っています。 ・個別ケースについてサービスに繋がらない方へのアプローチや予防的な対応、地域の方との連携を意識した対応もされています。引き続き状況に応じた適切な対応を期待します。 ・認知症の普及啓発、権利擁護の出張講座等、各事業で地域へ出向くということを重点目標とされ実践されていたことを評価します。川井地区での居場所作り等地域の生活支援の課題解決に期待します。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	